

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	1	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
1 今度こそ！ 「責任ある行動とは」 【A 善悪の判断, 自律, 自由と責任】	1	集会委員会での失敗から「ぼく」が学んだことについて考えることとおして、自由と自分勝手の違いを理解し、責任ある行動をとろうとする判断力を育てる。	自由と自分勝手の違いに気づき、責任ある行動をとるためにはどうすればよいかということについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自由と自分勝手の違いを区別して、責任ある行動をとることの大切さを理解し、任された役割を責任をもってやり遂げることについて、自分との関わりで考えることができているか。
2 たからもの 「自分のよさを見つめて」 【A 個性の伸長】	1	自分のよいところに気づき、自信を取り戻していく「わたし」の姿について考えることとおして、自分の長所を知り、それを伸ばすことへの考えを深め、自信をもって前向きに生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	自分の長所と短所に気づき、短所を改め長所を伸ばしていくにはどうしたらよいかということについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分の長所と短所を理解し、短所を改め長所を伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。
3 場面に合わせたあいさつ 「心のこもったあいさつ」 【B 礼儀】	1	病院や学校の廊下などでの挨拶の仕方を体験的に学ぶこととおして、場面に応じた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶する実践意欲と態度を育てる。	場面に合わせた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶することについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。	場面に合わせた挨拶をすることを理解し、真心をこめて礼儀正しく挨拶することについて、自分との関わりで考えることができているか。
4 よさこいソーラン祭り 「郷土の人を元気に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	「ぼく」が自分の町を誇りに思う気持ちについて話し合うこととおして、日本や地域の伝統や文化を受け継ぐことの大切さに気づき、その文化を発展させようとする実践意欲と態度を育てる。	国や郷土に受け継がれている伝統や文化の大切さに気づき、それらを受け継いでいくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	国や郷土に受け継がれている伝統や文化を理解し、それらを受け継ぐことについて、自分との関わりで考えることができているか。
5 位置について！	1	大輔が練習しているところを見	誰に対しても差別したり、偏見をもったりし	多面的・多角的に考える。

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
「公正・公平な態度で」 【C 公正、公平、社会正義】		て考えを変える「ぼく」と信二について話し合うことをとおして、差別したり、偏見をもったりしないようにすることに気づき、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。	ないことの大切さに気づき、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。	*誰に対しても差別したり、偏見をもったりしないことの大切さに気づき、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 *誰に対しても差別することや偏見をもつことのないようにすることを理解し、公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができているか。
6 公益のために生きる ——渋沢 栄—— 「生き方を見つめて」 【D よりよく生きる喜び】	1	公共の発展のために力を尽くした渋沢栄一の生き方について話し合うことをとおして、よりよく生きようとする人の強さや気高さに気づき、夢や希望をもって生きようとする心情を育てる。	よりよく生きようとする人間の強さや気高さに気づき、夢や希望をもって生きることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	よりよく生きようとすることを理解し、夢や希望をもって生きることについて、自分との関わりで考えることができているか。
7 言葉のおくりもの 「みんなで力を合わせて」 【B 友情、信頼】	1	周囲の声などに左右されずに人と接するすみ子の態度や態度を変えてしまう一郎について話し合うことをとおして、友達と互いにわかり合い、関係を築いていくことの大切さに気づき、互いに助け合い、友情を深め合っていくこととする心情を育てる。	友達と互いにわかり合う大切さに気づき、互いに助け合い友情を深め合っていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	友達と互いにわかり合うことを理解し、互いに助け合い友情を深め合っていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。
8 SNSいじめ 「あなたならどうする」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	いじめを受けてる「わたし」の姿について話し合うことをとおして、自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動しようとする心情を育てる。	自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動することについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自律的に判断することを理解し、自分で判断して行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。
9 横浜港のガンマンの思い 「みんなのために働く」	1	仕事に対する上坪茂さんの考え方について話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づ	働くことの大切さに気づき、公共のために役に立つことについて、多面的・多角的に考えることができているか。	働くことの重要性を理解し、公共のために役に立つことについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
【C 勤労、公共の精神】		き、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。		
10 参考にするだけなら 「自分の心に正直に」 【A 正直、誠実】	1	知子さんの行動や心情について話し合うことをとおして、うそやごまかしをせず正直であることの大切さに気づき、誠実に明るい心で生活しようとする判断力を育てる。	うそやごまかしをせず正直であることの大切さに気づき、誠実に明るい心で生活することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	うそやごまかしをせず正直であることを理解し、誠実に明るい心で生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。
11 わたしにできることを 「家族のためにできること」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おじいちゃんへの「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、家族に対する敬愛を深めることの大切さに気づき、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとする心情を育てる。	家族に対する敬愛を深めることの大切さに気づき、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	家族に対する敬愛を理解し、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
12 図書館はだれのもの 「自他の権利を大切に」 【C 規則の尊重】	1	みんなの態度や「わたし」の気持ちについて話し合うことをとおして、きまりやマナーの意義に気づき、自他の権利を尊重し義務を果たそうとする実践意欲と態度を育てる。	きまりやマナーを守ることの大切さに気づき、自他の権利を尊重し、義務を果たすことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	きまりやマナーを理解し、自他の権利を尊重し義務を果たすことについて、自分との関わりで考えることができるか。
13 稲むらの火 「大切な命を守る」 【D 生命の尊さ】	1	村人を救おうとして行動する五兵衛について話し合うことをとおして、命の大切さに気づき、かけがえのない命を守り、尊重しようとする心情を育てる。	命の大切さに気づき、かけがえのない命を守り尊重することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	命の大切さを理解し、かけがえのない命を守り尊重することについて、自分との関わりで考えることができるか。
14 二億人を救った化学者 ——大村 智—— 「探究心をもち続ける」 【A 真理の探究】	1	大村先生の生き方について話し合うことをとおして、探究心をもち続けることの大切さに気づき、真理を追究していこうとする実践意欲と態度を育てる。	探究心をもち続けることの大切さに気づき、真理を追究していくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	探究心をもち続けることを理解し、真理を追究していくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
15 わたしとあなたの「ふつう」はちがう	1	みんなが感じている「ふつう」について考えることをとおして、一	誰でも一人一人に違いがあることに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接すること	誰でも一人一人が違うことを理解し、誰に対しても公正・公平な態度で接することについ

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
「公正・公平な社会とは」 【C 公正、公平、社会正義】		人一人の違いを理解して尊重することの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接する実践意欲と態度を育てる。	について、多面的・多角的に考えることができるか。	て、自分との関わりで考えることができるか。
16 森の絵 「自分の役割を考えて」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	えり子さんの考え方の変化について話し合うことをとおして、クラスや学校で役割を果たすことの大切さに気づき、自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合っってよりよいクラスや学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	クラスの中で自分が果たすべき役割などに気づき、役割を自覚しながらみんなで協力し合っってよりよいクラスなどをつくることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	クラスの中で自分が果たすべき役割を理解し、役割を自覚しながらみんなで協力し合っってよりよいクラスなどをつくっていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
17 ルールを守る 「法やきまりを守って」 【C 規則の尊重】	1	日常生活の場面における「わたし」の言動を体験的に学ぶことをとおして、ルールやマナーの意義や大切さに気づき、すすんでそれらを守ろうとする判断力を育てる。	場面に合わせたルールやマナーを守ることの大切さに気づき、すすんでそれらを守ろうとすることについて、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。	場面に合わせたルールやマナーを守ること的理解し、すすんでそれらを守ろうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
18 モントゴメリーのバス 「差別のない社会へ」 【C 公正、公平、社会正義】	1	パークスさんの行動やキング牧師がボイコット運動を続けた理由について話し合うことをとおして、差別をしないことや偏見をもたないようにすることの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	差別をしないことや偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	差別をしないことや偏見をもたないことを理解し、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができるか。
19 ロレンゾの友達 「本当の『友情』とは」 【B 友情、信頼】	1	アンドレ、サバイユ、ニコライの三人のそれぞれの「友達」に対する考え方の違いについて話し合うことをとおして、友情の大切さに気づき、友達と互いに信頼し合っって友情を育もうとする心情を育てる。	友情の大切さに気づき、友達と互いに信頼し合っって友情を育むことについて、多面的・多角的に考えることができるか。	友情について理解し、友達と互いに信頼し合っって友情を育むことについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
20 お父さんのすがたから 「感謝の気持ちを伝えるには」 【B 感謝】	1	餅つき大金の準備で一生懸命に働くお父さんの姿やそれを見る「ぼく」について話し合うことをとおして、感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、自分の生活を支えてくれている人たちに対して、すすんで感謝しようとする実践意欲と態度を育てる。	身のまわりの人たちに感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、自分の生活を支えてくれている人たちにすすんで感謝しようとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	身のまわりの人たちに感謝の気持ちを表すことを理解し、自分の生活を支えてくれている人たちにすすんで感謝しようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
21 トキのまう空 「自然を大切に」 【D 自然愛護】	1	近辻宏帰さん取材した「わたしたち」が、自然環境を守るためにやるべきことをどのように考えたかについて話し合うことをとおして、自然環境を守ることの大切さに気づき、自然を守って生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	身のまわりの自然環境を守ることの大切さに気づき、自然を守って生活することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	*身のまわりの自然環境を守ることの大切さに気づき、自然を守って生活することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 *身のまわりの自然環境を守ることを理解し、自然を守って生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。
22 ネット上の友達 「節度を守って安全に」 【A 節度、節制】	1	インターネットの世界と現実でのさやかな行動について話し合うことをとおして、節度を守って安全に生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直しながら、安全に生活しようとする判断力を育てる。	節度を守って安全に生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直しながら、安全に生活することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	節度を守って安全に生活することを理解し、自分の生活を見直しながら安全に生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。
23 パール富士のかがやき 「大自然の美しさにふれて」 【D 感動、畏敬の念】	1	自然が作り出す美しさについて話し合うことをとおして、美しいものに感動する心に気づき、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりする心を大切にしようとする心情を育てる。	美しいものに感動することの大切さに気づき、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	美しいものに感動することを理解し、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
24 食品ロスをどう防ぐ？ 「生活を見直してむだをなくす」	1	生活を見直し、無駄をなくすことについて話し合うことをとおして、節制をすることの大切さに気づき、	節制をすることの大切さに気づき、すすんで節度を守り節制を心がけることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	節制をすることを理解し、すすんで節度を守り節制を心がけることについて、自分との関わりで考えることができるか。

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
【A 節度、節制】		づき、すすんで節度を守り節制を心がけようとする実践意欲と態度を育てる。		
25 一木一石運動 ——自然保護活動のさきがけ—— 「みんなで自然を守る」 【D 自然愛護】	1	一木一石運動の成果について話し合うことをとおして、自然環境を守ることの意義や大切さに気づき、自然を大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	自然環境を守ることの意義や大切さに気づき、自然を大切に生活することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	自然環境を守ることの意義を理解し、自然を大切に生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。
26 青い目の人形 「国をこえた友情」 【C 国際理解、国際親善】	1	土居村の小学校の子どもたちの人形に対する思いや、人形を処分しなかった先生たちについて話し合うことをとおして、他国の人たちと心を通わせて交流することの大切さに気づき、すすんで他国の人々と親しくしようとする実践意欲と態度を育てる。	他国の人たちと心を通わせて交流することの大切さに気づき、すすんで他国の人たちと親しくしようとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	他国の人たちと心を通わせて交流することを理解し、すすんで他国の人たちと親しくすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
27 新幹線開発物語 「目標に向かって進む」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	多くの困難に直面しながらも新幹線の開発を進めた三木忠直さんの思いについて話し合うことをとおして、挫けずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやりぬこうとする実践意欲と態度を育てる。	挫けずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやり抜こうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	挫けずに努力し続けることを理解し、希望をもって物事をやり抜こうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
28 百の診療所よりも一本の用水路を ——中村 哲—— 「他国の人たちのために」 【C 国際理解、国際親善】	1	アフガニスタンの人々のために働いた中村哲さんの生き方について話し合うことをとおして、他国の人々や文化を理解して人々のために力を尽くすことのよさに気づき、すすんで他国の人々と親しもうとする心情を育てる。	他国の人々のために力を尽くすことのよさに気づき、すすんで他国の人々と親しもうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	他国の人々のために力を尽くすことを理解し、すすんで他国の人々と親しもうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
29 世代をこえた思いやり	1	長い間寄付をし続けたA子さん	他者を思いやる心をもつことの大切さに気	他者を思いやる心をもつことを理解し、すす

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
「思いやりの心を大切に」 【B 親切、思いやり】		とS子さんたちの行動について話し合うことをとおして、他者を思いやる心をもつことの大切さに気づき、すすんで他者に親切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	づき、すすんで他者に親切にしていこうとについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】	んで他者に親切にしていこうとについて、自分との関わりで考えることができているか。
30 銀のしょく台 「相手を許す心をもつ」 【B 相互理解、寛容】	1	ミリエル司教が、銀の食器だけでなく銀のしょく台まで与えた理由について話し合うことをとおして、広い心で許し合うことの大切さに気づき、広い心で相手を受け止めようとする実践意欲と態度を育てる。	自分と異なる意見や立場であっても広い心で許し合うことの大切さに気づき、広い心で相手を受け止めることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分と異なる意見や立場であっても広い心で許し合うことを理解し、広い心で相手を受け止めることについて、自分との関わりで考えることができているか。
31 東の羽生、西の村山 ——天才棋士 村山 聖—— 「くじけずに努力する」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	「それが人間の宿命であり、幸せだ。」という村山聖の言葉の意味について話し合うことをとおして、自分の生き方や進路などについて考えることの大切さに気づき、困難があっても挫けずに物事をやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	自分の生き方などについて考えることの大切さに気づき、挫けずに物事をやり抜こうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	自分の生き方などについて考えることを理解し、挫けずに物事をやり抜こうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
32 この空は遠い日本とつながっている ——和田 重次郎—— 「家族の幸せのために」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	遠く離れている母のことを大切に思う和田重次郎の思いについて話し合うことをとおして、家族を大切にすることのよさに気づき、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	家族を大切にすることのよさに気づき、すすんで家族のために役に立とうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。	家族を大切にすることを理解し、すすんで家族のために役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
33 世界にひびく伝統の音 「伝統を受けつぐ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷	1	昔からの伝統の技術を受け継ぐ明珍さんの姿について話し合うことをとおして、伝統を守ることの意義や大切さに気づき、長く受け継がれてきたわが国の伝統的	伝統を守ることの意義や大切さに気づき、長く受け継がれてきたわが国の伝統的な文化を守っていくことについて、多角的・多面的に考えることができているか。	伝統を守ることの意義や大切さを理解し、長く受け継がれてきたわが国の伝統的な文化を守っていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
土を愛する態度]		な文化を守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。		

評価基準

教科	道徳	学年	5学年
----	----	----	-----

単元名	時数	単元の目標	評価基準	
			多面的・多角的に考える	自分のこととして考える
34 希 ——光の中を歩んだきょうだい—— 「命をかがやかせる」 【D 生命の尊さ】	1	短い人生を懸命に生きた二人について話し合うことをとおして、命の大切さは家族などとのつながりの中にあることに気づき、かけがえのない命を尊重しようとする心情を育てる。	命の大切さはつながりの中にあることに気づき、かけがえのない命を尊重することについて、多面的・多角的に考えることができるか。	命の大切さはつながりの中にあることを理解し、かけがえのない命を尊重することについて、自分との関わりで考えることができるか。
35 天から送られた手紙 「真理を探究する」 【A 真理の探究】	1	真理を追い求めた中谷宇吉郎の姿勢について話し合うことをとおして、物事を探究するために必要な考え方に気づき、真理を探究していこうとする実践意欲と態度を育てる。	真理を探究するために必要な考え方に気づき、真理を探究し続けることについて、多面的・多角的に考えることができるか。	真理を探究する心を持ち続けるということについて、自分との関わりで考えることができるか。
学習をふり返ろう	1	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	心に残った話（教材）とそれを選んだ理由、一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。	